

中期目標の達成状況に関する評価結果

国立大学法人東京工業大学

法人番号：28

申立ての内容	申立への対応
<p>【評価項目】</p> <p>I 教育に関する目標</p> <p>3 優れた点、改善を要する点、特色ある点 (改善を要する点)</p> <p>【原文】</p> <p>「○ 中期計画で「既存の四大学連合複合領域コースをまとめて、理工学分野と医学、経済学、法学等の異なる分野を融合した、新たな学科及び専攻の設置等により、新たな知の分野の学力を備えた新しいカテゴリーの科学者・技術者を育成する方策を策定し、実施する」としていることについて、四大学連合複合領域コースは優れた取組であるが、平成19年度の参加学生数が大幅に減少していることについての原因の分析、対策の実施がなされていないことから、改善することが望まれる。」</p> <p>【申立内容】</p> <p>削除願いたい</p> <p>【理由】</p> <p>本件は、中期目標の達成状況報告書P27資料2-3「四大学連合複合領域コース大学別コース別所属者」に係るものですが、資料中の各年度の計は参加者の合計ではなく、各年度の新規者数を表しております。各コースに参加する学生は、原則として2～4年次にわたり所属するため、参加者数については基本的に3年間の積み上げの数となります。したがって、参加者数については平成19年度での大幅な減少はありません。</p> <p>本学では教育推進室において、常にコース学生の受講状況等の把握とともに学生のニーズに合っているかを検討しており、新</p>	<p>【対応】</p> <p>意見を踏まえ、記載の一部を修正する。</p> <p>【理由】</p> <p>適切な表現とするため、以下のとおり修正する。</p> <p>「中期計画で「既存の四大学連合複合領域コースをまとめて、理工学分野と医学、経済学、法学等の異なる分野を融合した、新たな学科及び専攻の設置等により、新たな知の分野の学力を備えた新しいカテゴリーの科学者・技術者を育成する方策を策定し、実施する」としていることについて、四大学連合複合領域コースは優れた取組であるが、平成19年度の<u>新規</u>参加学生数が大幅に減少していることについての原因の分析、対策の実施が<u>十分</u>になされていないことから、改善することが望まれる。」</p>

規者数減少への対策として、平成19年度に各コースにおける開講科目数の増加、所属コース以外の科目履修への対応、コースのホームページ充実による履修学生支援及び広報の強化等の施策を実施し、平成20年度においては新規者数が増加しております。

また、大学院においても複合領域コースを基礎とした特別教育研究コースを新たに設置するなど、四大学連合がより魅力あるものとなるよう改善を続けており、これらの取組により、四大学連合は関係者の期待に沿い順調に実施できていると認識しております。

以上は、訪問調査時にも説明したところですが、「参加者数の大幅な減少」「原因の分析、対策の実施がなされていない」との記載は事実誤認であり、原文の削除をお願いいたします。